

## 竹灯笼づくりワークショップ&夜のお花火市役所～灯る竹灯笼～

8月2日・3日で行われた竹灯笼づくりワークショップには40組が参加！参加者は、デカンショ祭当日に市役所本庁舎2階のデッキスペースから打ち上げ花火を見ることができ、足元を作成した竹灯笼が彩りました。



### 参加者の声



すぎもと  
杉本さんご家族  
ひろし 博さん・乃愛さん・未来さん(左から)

チラシやホームページを見てワークショップがあることを知り、子どもにいろんな体験をさせたいと思って参加しました。好きな絵柄を竹に貼り付けて穴を開けます。初めての体験でしたが難しくなく、楽しみながらできてよかったです。そして何より、特等席から見た花火は忘れられません。並べられた竹灯笼も幻想的でした。作成した竹灯笼は、家で飾りたいと思います。来年も企画されるのでしたら、ぜひ参加したいです。

## 『丹波篠山の起源をたずねて』～地域に伝わる民謡・踊り～

丹波篠山市内各地に受け継がれてきた民謡や踊りを、その担い手である保存会の方や地域の方が披露するイベントがデカンショ祭2日目に行われました。踊りのレクチャーもあり、参加者も一緒に踊って丹波篠山のよさを再発見！



### 企画者の声



日本民謡アーティスト  
Seimaさん

民謡からはその地域の特色や暮らしがうかがえます。各地域の魅力が詰まった民謡を、地域の枠を超えて知ってもらいたい！そんな願いで開催し、これからの時代を担う子どもたちや、丹波篠山を好んで訪れた海外の方もたくさん参加されました。地域のよさを唄った民謡の生演奏や踊りの鑑賞、みんなでデカンショ節のルーツとなった「みつ節」を踊るなど、笑顔あふれるイベントになりうれしかったです。これからも民謡に触れられる機会を皆さんと持ちたいです！

今年、城跡をライトアップ！



熱かった  
デカンショ祭！  
水色と赤色のちようちんが飾られると、もうすぐデカンショヤーとわくわくする気持ちの子どもの頃から変わります。今年のデカンショ祭は丹波篠山国際博も相まって一味違う。世代や地域の枠を超え、丹波篠山がさらに一丸となって、猛暑に負けない熱量でデカンショ祭が開催されたことを改めて感じました。



こやま みき  
小山美樹さん  
リポーター

## 夏の風物詩、 デカンショ祭を 盛り上げる

### 丹波篠山国際博



今年のデカンショ祭の来場者数は6万3,000人。多くの人でにぎわいました。

何より今年は丹波篠山国際博の年。「オール丹波篠山」で、丹波篠山の魅力や文化を発信中です。

今年は丹波篠山国際博記念事業として、デカンショ祭当日以外にも楽しめるイベントが企画されました。

今回は、デカンショ祭の盛り上げの一助を担った丹波篠山国際博記念事業をご紹介します。

問い合わせ 丹波篠山国際博担当 ☎558-8891



### あかまっちゃん&りえちゃんを探せ！

7月22日から8月14日の間、市内40カ所に出没したあかまっちゃんとりえちゃん！皆さんは見つけることができましたか？



### デカンショ祭PRキャラバンinミチニワ

8月9日に神戸市でデカンショ祭をPR！デカンショ踊りの披露や特産物の試食などがあり、暑い中多くの人でにぎわいました。

